

令和6年度指定管理者モニタリング評価表

施設名	羽咋市にぎわい交流拠点	所在地	羽咋市川原町テ39番地1
指定管理者	株式会社オカモト		
住所	北海道帯広市東4条南10丁目2番地	選定方法	公募型プロポーザル
指定期間	令和6年1月1日 ~ 令和16年3月31日		
指定管理料	72,700千円（令和6年度現計予算額）		
評価担当課	まちづくり課		
年度重点目標	人材の確保及び研修を適切に実施するとともに、マニュアル作成などを進め、7月1日にグランドオープンする。著名人の招致だけでなく、商工関係や大学、各種団体と連携し、オープニングイベントや各種事業を進め、羽咋駅周辺の賑わい創出を図る。		

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
		中間	年間		
1 職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A		聞き取り書類	配置表及び出勤簿で確認(正社員2人、契約社員1人、パート7人)
	事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A		聞き取り書類	各種研修を計画的に実施
	指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。(届出済みの業務委託部分は除く)	A		聞き取り書類	再委託契約書にて確認
2 施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A		聞き取り書類	各種マニュアルが作成され、適正に実施されている
	整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A		現地	適切に実施されている
	法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	A		書類	書類確認(保守点検報告書等)
	保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	A		聞き取り書類	適切な処置が実施されている
	備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A		書類	備品台帳に写真付きで管理
3 サービス向上への取組状況(アンケート調査による意見及び対応は項目9に)	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	B		聞き取り 現地	開館当初は情報発信に時間を要していたが、現在は積極的に情報発信されている。
	特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A		聞き取り	該当事例なし
	利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	-		聞き取り	12月に実施予定
	苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		聞き取り 書類	速やかに対応している ※月報に対応記録を記載している
4 防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A		聞き取り 書類	連絡体制を市と共有 訓練 年2回実施(5月実施、12月予定)
	リスクに応じた保険等に加入しているか。	A		書類	賠償責任保険加入

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考	
		中間	年間			
5	個人情報保護の措置状況	個人情報とは適正に管理されているか	A		現地	適正に管理されている
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A		聞き取り 現地	本社でLAKUNAはくい分を区分し管理
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A		書類	収支状況の報告書で確認
		料金等の収入が適正に得られているか。著しい増減がある場合は、その原因は何か。	A		書類	令和6年7月開業のため、過去との比較はできないが適正である。
7	施設利用状況	施設の利用が十分に行われているか。利用者数、施設稼働率等に著しい増減がある場合は、その原因は何か。	A		書類	令和6年7月開業のため、過去との比較はできないが適正である。なお、開業から77日で来館10万人を達成
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A		書類	毎月報告書が提出されている
9	アンケート調査意見及び対応	7月1日に開業したため、アンケート調査は12月に実施予定。来年度以降は年2回調査する予定。利用者からの要望やニーズには随時対応している。				
10	今後、検討・調整が必要な事項	駐車場について、特に休日は満車となり、駅東駐車場や市役所駐車場を利用しているが、市外からの来館者への周知が不足している。ホームページやInstagram、館内サイネージなどで駐車場の情報を発信しているが、満車時の対応を分かりやすく伝えるため、駐車場に案内看板の設置を検討する。				
11	今後の管理方針	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用料に関しては、今後ホームページやInstagramを活用し、利用方法の提案を行い、利用率の増加に努める。現時点で稼働率の低いキッチンスタジオ・アートスタジオを中心に実施する。 自主事業に関しては、図書カフェと屋内公園の利用者にアプローチできるような当日参加可能なプログラムの実施をおこない、有料レッスンや参加料ありの親子向けイベントを開催し自主事業収入につなげていく。 				
総合評価	中間評価		年間評価		令和5年度	令和4年度
	A				—	—